

一般会計補正予算など可決

12月定例会

議案

第4回定例会は、12月7日から16日までの10日間の会期で開かれました。本定例会は、平成23年度一般会計補正予算を含む、議案11件（内予算関連2件、議員提案による意見書が3件）、陳情4件、請願1件が上程審議され、すべて原案どおり可決されました。

◆一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ873万4千円を減額し、予算の総額を53億9,266万円としました。

全会一致で可決

◆簡易水道事業特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ82万7千円を追加し、予算の総額を1億3,701万円としました。

全会一致で可決

◆条例の一部を改正する条例
「地方税法改正に伴う町条例の改正」

全会一致で可決

◆社会体育館等の設置及び管理等に関する条例の一部改正する条例
例 「講堂の取り壊しによる改正」

全会一致で可決

◆しもにたバス条例の制定

全会一致で可決

◆町道路線の廃止

全会一致で可決

◆町道路線の認定

全会一致で可決

◆財産取得について

「統合に向けスクールバス2台購入」金額2,819万7,220円

全会一致で可決

陳情

◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

全会一致で採択

◆0.4%の年金引下げをもとに戻すことを求める陳情

全会一致で採択

◆年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情

継続審査

◆群馬県立下仁田高校の存続についての陳情

全会一致で採択

請願

◆群馬県立下仁田高校の存続についての請願

全会一致で採択

意見書

◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

全会一致で可決

◆0.4%の年金引下げをもとに戻すことを求める意見書

全会一致で可決

◆内閣総理大臣等へ議長名で意見書を提出！

全会一致で可決

◆群馬県立下仁田高校の存続を求める意見書

全会一致で可決

群馬県知事等へ議長名で意見書を提出！

臨時議会

11月4日開催
◆下仁田町60メガヘルツ固定系防災行政無線整備工事請負契約

全会一致で可決

11月28日開催
◆町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
「人事院勧告に伴う減額の改正条例です。」

全会一致で可決

群馬県立下仁田高等学校の存続を求める意見書

下仁田高校は、昭和12年3月17日 県立下仁田高等家政女学校として下仁田町外8ヶ村学校組合の設立認可が下りました。創立以来地域住民の協力のもとに地域の発展に貢献してきました。

近年は、下仁田ふれあいアカデミー活動として環境調査、環境浄化、下仁田町商業祭や産業祭への参加、また、商工会青年部のイルミネーション事業には企画から設置までの協力等々、地域との交流も盛んに行われております。

しかし、現在少子化の影響を受け、志願者が減少している状況ですが、廃校あるいは学級減になると、地域に及ぼす影響は重大で、過疎化への更なる拍車、地域産業等の衰退、また東降客減少に伴い通信線存続の危機が増大される等、影響は計り知れません。

群馬県教育委員会の計画原案は、職業系専門学科・普通科系専門学科について特色ある教育の充実を図りつつ、社会のニーズや地域の実情に応じた学科・コースの改編等を検討することとしており、「特色ある高校づくり」に向け、魅力ある学科や特徴あるコースづくりを目指すことが重要と思います。

下仁田町は森林原野も豊富、町有林を生かした森林学科、また、ジオパークを生かした地質学科等、普通科のみでなく、幅広く専門学科・コースを検討された。

小規模校の良さは、一人ひとりが向き合った指導を受けられるところであり、統廃合という短絡思考であってはならないと考えます。

群馬県の最西部の県立高校としての地域配置に配慮いただき、下仁田高校の存続を強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月16日

群馬県甘楽部下仁田町議会
議長 千野 榮 治

群馬県知事 大塚 正明 殿
群馬県教育委員会教育長 福島 金夫 殿

下仁田高校存続を求める意見書